

令和5年秋期 金沢地区推進連絡会要旨

1 日時

令和5年11月25日(土) 17:00~18:00

2 場所

金沢地区連合会館

3 参加者

(地域側) 自治会等地域団体関係	16名
学校関係(金沢小、八景小、金沢中)	4名
(支援チーム、その他行政側)	
区役所	6名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	3名
計	29名

4 内容

1 開会のあいさつ【金沢地区連合町内会長】

2 区長あいさつ

3 地域の災害対策について

(1) 令和4年秋期地区推進連絡会要旨

(2) 金沢地区防災まちづくり協議会

(3) 洲崎東部町内会防災広場の防災訓練

10月21日(土)に開催された訓練について説明。

地主の協力を得て、空き家を撤去して防災広場として活用できたが、付近では、年々倒壊など危険な空き家が増えている。

(4) 防災まち歩きの報告

11月21日(火)地域の住民と地域支援チームが40名ほど参加して、防災や防犯上問題となる場所を中心にまち歩きを実施

(5) 各自治会・町内会の防災の取組みに関する意見交換

・防災訓練に参加する人がなかなか集まらず、参加者も年配者が多く、若手が少ない。そこで、消防車の展示など新たな防災訓練内容の追加を行っている。

・高齢者の要支援者の方向けに情報が入るボトル(キット)を配布した。

・近隣の保育園、幼稚園と一緒に訓練を行っている。一人暮らしの高齢者の情報は分かるが、介護度が高い高齢者の避難については課題が多い。

・マンションでエレベーターが各階すべてに止まらないため、災害時に階段ごとに班長を決めている。

- ・町内の店舗が廃業し、十数畳のスペースがあり、防災の備蓄スペースとして使用している。
- ・道路が狭く消防車が入れないため、初期消火の訓練に力を入れている。
- ・防災訓練で拡声器に電池が入れっぱなしで使用できなかった。必要なものを一つ一つ確実にそろえていき、使い方を覚えていく必要がある。
- ・初めて地域の防災訓練に参加したが、知識がなくても力仕事など訓練と一緒に参加することができた。区からいろいろな役割について、分かりやすく示してもらいたい。
- ・個人情報隠して役員が管理している要援護者マップを毎年更新しているが、災害時に活用することになっているが、平常時でも役に立つ情報がたくさん載っているのか、活用できないのか。
- ・去年は津波の避難、今年は地震の対応を中心に訓練した。参加者は年配者が多い。要援護者の中でも町内会に入っていない人への周知が難しい。
- ・発災時に民生委員が助けてくると思っている要援護者がいるが、民生委員は要援護者名簿を保持しておらず民生委員活動にも限界がある。災害時の民生委員の活動をどのように位置づけるか、また、災害時要援護者名簿と民生委員に提供される名簿を合わせて支援に役立てられないか、今後考えていきたい。（終了後のご意見）

5 その他

移動販売について

今年の春に、30年来から売りに来ていた八百屋が八景ハイムに來れなくなり、町内会へも移動販売について要望があった。町内会から地域ケアプラザ、区社会福祉協議に相談し、住民アンケートなどを行い2事業者が移動販売として来てもらうことになった。

6 閉会